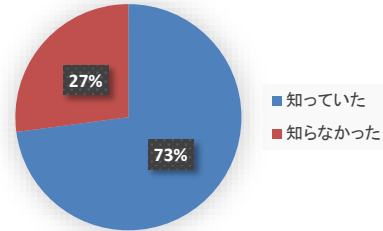


## 文化芸術事業補助金制度に関するアンケート調査結果集計(文化芸術団体)

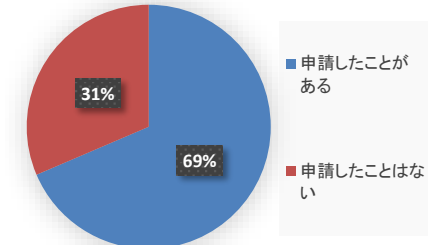
### 1 補助金制度を知っていたか

項目	件数
知っていた	35
知らなかった	13
計	48



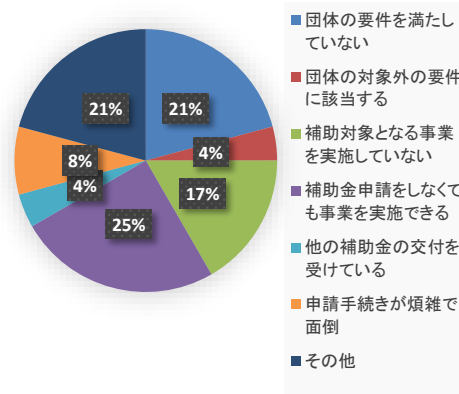
### 2 補助金制度の申請について

項目	件数
申請したことがある	24
申請したことはない	11
計	35



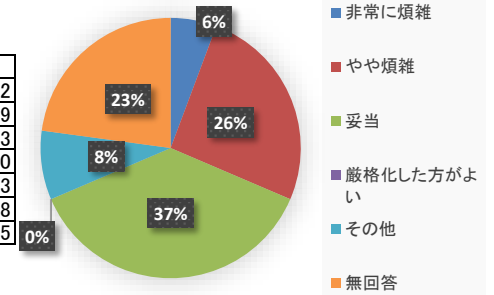
### 3 申請したことがない理由について

項目	件数
団体の要件を満たしていない	5
団体の対象外の要件に該当する	1
補助対象となる事業を実施していない	4
補助金申請をしなくても事業を実施できる	6
他の補助金の交付を受けている	1
申請手続きが煩雑で面倒	2
その他	5
計	24



### 4 交付申請手続きについて

項目	件数
非常に煩雑	2
やや煩雑	9
妥当	13
厳格化した方がよい	0
その他	3
無回答	8
計	35

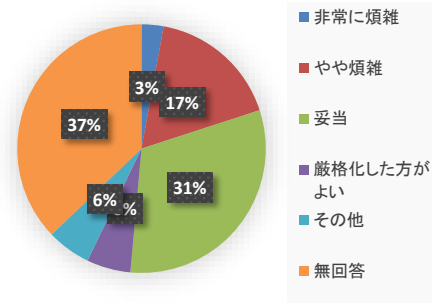


#### 意見

- ・難しい手続きが多い印象があり、申請に前向きにならない。
- ・伝統芸能の継承、普及を行う団体など実績のある団体の場合、小規模・少人数でも対象として欲しい。

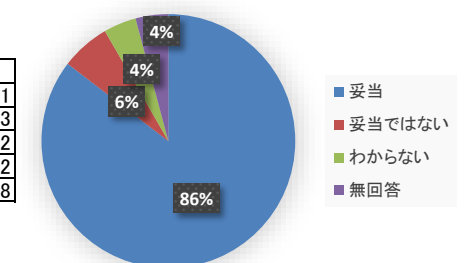
### 5 実績報告手続きについて

項目	件数
非常に煩雑	1
やや煩雑	6
妥当	11
厳格化した方がよい	2
その他	2
無回答	13
計	35



### 6 補助対象団体の要件について

項目	件数
妥当	41
妥当ではない	3
わからない	2
無回答	2
計	48

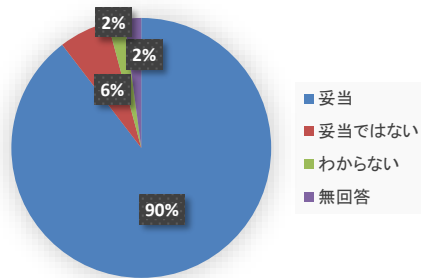


#### 意見

- ・少なくとも代表や事務局長は市民が就任するべき
- ・市内に住所を有しない場合も、会員の多くが市民の場合は対象として欲しい
- ・新たな創造的な可能性を持った若い人たちへ広げる眼を持って欲しい
- ・「3年以上の実績」では、新しく可能性を持って出てくる若い人たちへの活動援助になるだろう
- ・学校(部活動)については、青少年育成のため対象として良い

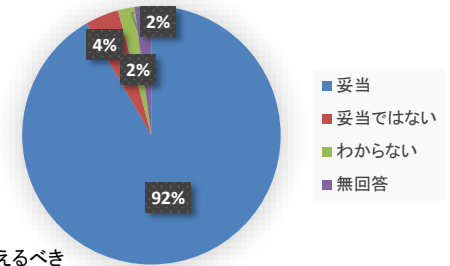
6 補助対象外団体の要件について

項目	件数
妥当	43
妥当ではない	3
わからない	1
無回答	1
計	48



6 補助対象事業の要件について

項目	件数
妥当	44
妥当ではない	2
わからない	1
無回答	1
計	48

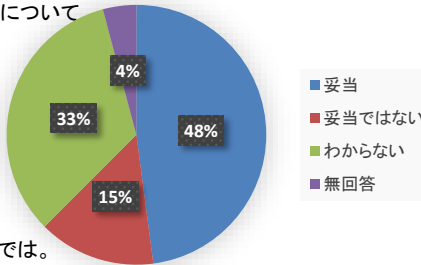


意見

・事業への参加者の要件として、市民が過半数であること、を加えるべき

6 「文化芸術関係団体」の上限額が5万円であることについて

項目	件数
妥当	23
妥当ではない	7
わからない	16
無回答	2
計	48

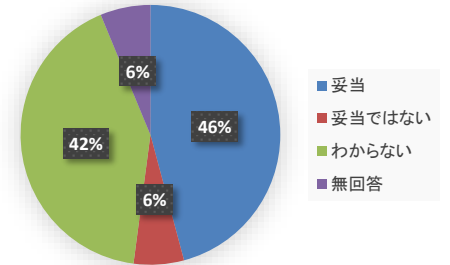


意見

- ・書類づくりの手間を考えると上限10万円でも良いのでは。
- ・総事業費のランクで上限を変えてはどうか
- ・少額すぎる
- ・補助対象経費の50%補助では団体の負担が大きい

6 「5団体以上の文化芸術関係団体で構成する連合的な組織」の上限額が10万円であることについて

項目	件数
妥当	22
妥当ではない	3
わからない	20
無回答	3
計	48

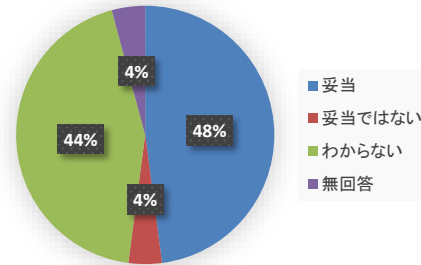


意見

・組織が大きい程費用がかさむため、増額すべき

6 「40団体以上の文化芸術関係団体で構成する連合的な組織」の上限額が30万円であることについて

項目	件数
妥当	23
妥当ではない	2
わからない	21
無回答	2
計	48

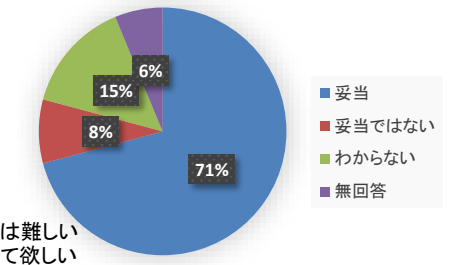


意見

・組織が大きい程費用がかさむため、増額すべき

6 要望受付期間について

項目	件数
妥当	34
妥当ではない	4
わからない	7
無回答	3
計	48



意見

- ・当年度の事業が終了しないうちに、次年度の事業の調整は難しい
- ・1年以上先の計画は立てにくいので、半年ごとの受付にして欲しい
- ・前年度中に支払う経費についても対象として欲しい。

その他意見

- ・補助金を受けた団体は、それなりの意識と活動成果をあげることを忘れてはいけない。
- ・文化事業の成果はすぐには現れないが長い目で見て補助をしていただきたい。
- ・会場使用料の減免も受けられるようにして欲しい。